

生活単元学習 学習指導案

授業日時：令和6年 月 日（ ）
5校時（○：○～○：○）

対 象：小学部〇くみ 4名

場 所：〇くみ教室

指 導 者：T 1

T 2

1 単元名「お誕生会をしよう」

2 児童の実態

本学級は、小学部1年生女子1名、2年生女子1名、2年生男子2名の計4名で編制されている。それぞれが個別に提示されたスケジュールを見て活動している。

児童同士の関わりに関しては、一緒にごっこ遊びをしたり、教員の支援を受けて友だちに挨拶したりする姿が見られるようになり、自分から友だちにかかわろうとすることが増えてきている。

個々の本単元に関わる実態は以下の通りである。

児童	実態
A	<p>1年生女子(知的障がい) 【アセスメント】</p> <hr/> <p>【全体的な実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月より登校をはじめ、学校生活に慣れ始めてきた。 ・イラストや写真カードで提示した1／5日スケジュールを見て、教員に見守られながら活動することができる。 ・簡単な日常会話を理解することができるが、発語はほとんどない。写真やイラストカードを渡したり指差しやジェスチャーをしたりして要求や行き先等を伝えることができる。 ・体幹が弱く、正しい姿勢で座る練習中である。興味がある教材等が出てくるとすぐに離席し、触ろうとすることがあるが、事前に説明すると待つことができるようになってきた。 <p>【本単元に関する実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆やローラーを使って絵の具を画用紙に塗ることができる。スティックのりを使って、画用紙等を貼ることができる。絵の具やのりが手につくとすぐに手洗いをしたがる。 ・休み時間に油粘土やスライムで遊ぶことが多い。 ・音声を聞いて複数ある果物カードの中から指定された果物カードを選ぶことができる。 ・教員の言葉かけを聞いて、前で活動している友だちに注目することができつつある。 ・集会活動では、周りの友だちや教員が拍手をしているのを見て、拍手することができつつある。
B	<p>2年生女子(知的障がい、自閉症) 【アセスメント】</p> <hr/> <p>【全体的な実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストや写真カードで提示した1／4日スケジュールを見て、教員に見守られながら活動することができる。 ・簡単な言葉かけを理解することができる。写真やイラストカードを使って、要求や行き先を伝えることができつつある。 ・特定の活動中（かばんの片付けや手洗い等）に物の位置や水滴にこだわり、活動が滞ったり癇癢を起こしたりすることがあり、気持ちを切り替えるのに時間がかかる時がある。 ・着席中に爪や指の皮を噛み、止めることが難しく活動に集中しにくい場面がある。 <p>【本単元に関する実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆やローラーを使って絵の具を画用紙に塗ることができるが、同じ箇所を繰り返し塗ることが多い。スティックのりを使って、画用紙等を貼ることができるが、のりをつけすぎることがある。 ・休み時間に油粘土で遊ぶこともある。 ・音声を聞いて複数ある果物カードの中から指定された果物カードを選ぶことができる。 ・教員の言葉かけを聞いて、前で活動している友だちに注目することができつつある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらがなやカタカナを正しく読むことができる。 ・集会活動では、隣で言葉かけをしながら拍手をするように促すと拍手をすることができつつある。
C	<p>2年生男子(知的障がい、自閉症) 【アセスメント】</p> <hr/> <p>【全体的な実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストや写真カードで提示した全日スケジュールを見て活動することができる。 ・簡単な日常会話を理解し、言葉で会話をするすることができる。 ・室内に虫がいたり、物の位置が違ったりすると、活動中であっても触りに行こうとしたり繰り返し教員に質問をしたりすることがある。 ・着席中に爪や指の皮を噛み、活動に集中しにくい場面がある。 ・ダンスをしている時に本児が難しいと感じる動きがあると、身体を動かさないことがある。 <p>【本単元に関する実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆やローラーを使って絵の具を画用紙に塗ることができる。スティックのりを使って、画用紙等を貼ることができる。 ・課題学習では、「好きなキャラクターは？」等の質問を聞いて、「ぼくは〇〇です」と答えることができる。その他の場面でも同様に答えることができるように練習中である。 ・日常と異なる場面では、緊張して発表することが難しかったり、声が小さくなったりすることがある。 ・前で活動している友だちに注目することができつつある。 ・集会活動では、隣で拍手をするように促すと拍手をすることができつつある。
D	<p>2年生男子(知的障がい、自閉症) 【アセスメント】</p> <hr/> <p>【全体的な実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の1月より転校してきた。 ・イラストや写真カードで提示した全日スケジュールを見て活動することができる。 ・簡単な日常会話を理解し、言葉で会話をするすることができる。 ・初めての活動や活動に見通しがもてない時に活動を拒否することがあるが、静かに見守っていると自分から「する」と発言し、気持ちを切り替えて活動に参加することが増えてきた。 ・寝不足や花粉症、便秘等、体調不良が原因で感情をコントロールしにくい時がある。 ・人とかわかることを好むが、力加減を調整することが難しい。 <p>【本単元に関する実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆やローラーを使って絵の具を画用紙に塗ることができる。スティックのりを使って、画用紙等を貼ることができる。 ・果物の名称を理解しているが、言い間違えることがある。言い間違えを指摘すると学習意欲が下がることもある。 ・日常と異なる場面では、気分が高揚し、離席する回数が増えることがある。 ・おおむね前で活動している友だちに注目することができる。 ・ひらがなを読むことに強い苦手意識をもっている。2年生になってから10字程度読むことができるようになった。 ・集会活動では、周りの様子を見て拍手をすることができつつある。

3 単元設定の理由

本学級は、簡単な日常会話を理解でき、言葉でやりとりができる児童2名、言葉と一部の場面で写真・イラストカード（以下写真等カード）を使ってやりとりができる児童1名、ジェスチャーと写真等カードを使ってやりとりができる児童1名で編成されている。会話ができる児童同士で工作やブロックで作ったキャラクターで戦いごっこをしたり、好きな動画を一緒に観て話をしたりすることが多く、友だちと過ごす休み時間を楽しみに学校生活を送っている。また、写真等カードを使ってコミュニケーションをとる児童については、複数のカードから自分が遊びたい玩具カードを選んだり、行き先や援助要求を写真等カードを使ったりして教員に伝えることができるようになってきており、意思の表出ができるように取り組んでいる。

学級活動では、友だちの名前を覚えて呼名したり、ペア活動では一緒にしたい友だちに「一緒にしよう」と言葉をかけたりする等、自分から友だちにかかわろうとする様子が増えてきている。しかし、友だちとかかわる中で、相手よりも自分が上手にできないと感じた時に活動を拒否したり、活動前から自

分を否定するような発言をし、泣いたり物に当たったりする等感情をコントロールすることが難しくなることがある。また、スケジュールを理解しているのにもかかわらず、一つ一つの行動に対して教員に確認したり、教員が近くにいないと不安定になったりする児童もいる。そのような様子から、本学級の児童にとって、自分に自信をもったり自分を大切に思ったりする気持ちを育むことが必要だと感じた。

生活単元学習では、「入学おめでとうパーティーをしよう」「遠足を楽しもう」「七夕を楽しもう」等、季節の行事や学校行事を意識しやすくするために、児童の興味関心の高い「調理」と「制作活動」を組み合わせて単元を構成してきた。単元において、季節の行事や遠足に関する絵本や動画を導入で視聴したり、制作や調理のスケジュールや手順をスライド等で説明したりすることで、順番を守って活動に参加することができたり、初めての活動に苦手意識がある D 児が落ち着いて参加したりできるようになった。しかし、これまでは個々に活動することが多く、友だちと一緒に活動をしたり友だちのために行動したりする経験も必要ではないかと感じた。そこで、学級で一つの作品を作ったり誕生日会で自分が主役になったりする経験を通して、友だちを意識したり他者からお祝いしてもらって自分自身の大切さに気づいたりするきっかけとなることを願って、本単元を設定した。

本単元では、生活単元学習と図画工作科の授業を通して、誕生会の準備として巨大バースデーケーキとガーランド等の飾りを制作する。本学級の児童は制作活動が好きな児童が多いため、制作活動を通して、児童同士で自然なコミュニケーションをとりやすかったり、完成した共同作品を見て友だちと一緒に達成感を感じたりしやすいのではないかと考えた。誕生会では、児童が作ったケーキやガーランド等の飾りを使うことで、誕生会への期待感を高め、児童が主体的に誕生会を楽しめるのではないかと考えた。本時では、教員自作の「誕生日の人の紹介ビデオ」を視聴した後、「誕生日の人に質問をする」活動を行う。本時の主役である C 児は、個別に実施している課題学習（国語・算数・自立活動）の中で、質問の答え方についての学習をしており、「誕生日の人に質問をする」活動を般化場面として考えている。また、誕生日の友だちの好きなことや得意なことを知る良い機会と捉え、知った内容から今後の遊びや会話等に発展し、より仲が深まることを願っている。そして、誕生日の児童も自分の得意なことを改めて知るとともに、誕生会で学習したことを、学年で開催している「お誕生会（特別活動）」でも発表できるようになってほしい。「ケーキをトッピングしよう」の活動では、友だちに飾ってほしいフルーツ等を依頼したり、友だちが自分のためにケーキを作ってくれている様子を見たりすることで特別感や嬉しさを感じることをねらいとしている。また、「お祝い」の活動では、歌を歌った後に TV 画面に映しているろうそくの火を吹き消したり、「おめでとう」と友だちや教員から言ってもらったりすることでさらに嬉しさを感じてほしい。そして、今回の学習をきっかけとして、誕生日のお祝いを次年度以降も繰り返し行うことを通して、自分の大切さや家族からの愛情を感じていってほしい。本時では、C 児の誕生会を行うが、それぞれの誕生月に一人一人の誕生会を計画している。自分がお祝いしてもらって嬉しいと感じるとともに、友だちにも嬉しいと感じてもらうために友だちに何かしたいと思う気持ちの芽生えを期待したい。

学校や家庭で誕生会を毎年行うことで、幼少期から自分が周りの人から愛されており、大切な存在であることに気づき、自分自身を大切に思う気持ちを育みながら心身ともに豊かに過ごすことができることを願っている。

4 年間指導計画

前期					
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
入学おめでとう パーティーを しよう	遠足を楽しもう ～いろいろなお弁当をつくろう～		お楽しみ会～ビ ンゴゲーム～を しよう		お誕生会をしよ う～巨大バス デーケーキを作 ろう～
母の日のプレゼントを つくろう	シャボン玉遊 びをし よう	七夕を楽しもう ～織り姫・彦星を作ってそうめ んパーティーをしよう～			学校祭を楽しも う～お店の準備 をしよう～

後期					
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
お誕生会をしよう ～飾り作り・お祝いをしよう～		クリスマス会をしよう	お誕生会をしよう	節分を楽しもう ～鬼を作って調理をしよう～	お誕生会をしよう
遠足を楽しもう	学校祭を楽しもう ～お店の準備をしよう～		校外学習に行こう		〇くみパーティーをしよう ～みんなで楽しめることを考えよう～

5 単元の見聞

- ・質問カードを読んだり、渡したりして相手に質問することができる。(知識及び技能)
- ・活動している友だちに注目したり、友だちの話を聞いたりすることができる。
(学びに向かう力、人間性等)
- ・友だちと協力して巨大バースデーケーキを作ることができる。(思考力、判断力、表現力等)
- ・児童に合った方法で、トッピングしてほしいフルーツ等を相手に伝えたり、友だちの依頼を聞いてフルーツ等を飾ったりすることができる。(思考力、判断力、表現力等)
- ・お誕生日の友だちにお祝いの言葉を伝えたり、拍手をしたりすることができる。
(学びに向かう力、人間性等)

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・質問カードを読んだり、渡したりして相手に質問している。	・友だちと協力して巨大バースデーケーキを作っている。 ・児童に合った方法で、トッピングしてほしいフルーツ等を相手に伝えたり、友だちの依頼を聞いてフルーツ等を飾ったりしている。	・活動している友だちに注目したり、友だちの話を聞いたりしようとしている。 ・お誕生日の友だちにお祝いの言葉を伝えたり、拍手をしたりしようとしている。

7 指導計画

お誕生会をしよう(全10時間)

- 巨大バースデーケーキの土台をつくろう・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- 巨大バースデーケーキのトッピングをつくろう・・・・・・・・・・・・・3時間
- 飾りをつくろう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2時間
- 〇くみのお友だちを祝おう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4時間(本時2/4)
- お誕生会をしよう(特別活動)

8 本時の目標

個別の学習目標	A	B	C	D
ヒントカードを見ながら、「ぼくは〇〇です」と質問に答えることができる。(国：2段階〔思・判・表〕Aエ)			◎	
視覚的支援を受けて、相手に聞こえる声量で飾ってほしいフルーツ等を伝えることができる。(国：3段階〔思・判・表〕Aオ)			○	
テレビ画面やCの依頼を聞いて、トッピングするフルーツを選び、ケーキに飾ることができる。(国：2段階〔思・判・表〕Aイ)	◎	◎		◎
質問したり答えたりしている人に注目することができる。(自：6-(1))	○	○	○	○
テレビ画面の文字を見て、「〇〇くんたんじょうびおめでとう」と言うことができる。(国：3段階〔知・技〕アウ)		○		
「せーの」のかけ声の後に「〇〇くんたんじょうびおめでとう」と言うことができる。(生：2段階 オ(イ))				○
「おめでとう」の後に拍手をすることができる。(自：6-(1))	○			

※◎は個別の指導計画との関連。()は教科との関連。

9 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点		学習活動における 具体の評価規準	評価 方法
		T 1	T 2		
1 分	1. 始まりの挨拶をする。 ・号令をかけ、挨拶をする。	・前に出てあいさつをしたい児童を募る。 ・挙手した児童から一人を指名する。	・姿勢の崩れている児童に対して、姿勢を整えるよう言葉かけや身体的支援をする。		
3 分	2. 教員の話を聞く。 ・本時の活動内容を知る。 1 はじめのあいさつ 2 せんせいはなし 3 たんじょうびのひとのしょうかいビデオ 4 しつもんをしよう 5 ケーキをトッピングしよう 6 おいおい・しゃしん 7 おたのしみ（おやつ） 8 おわりのあいさつ	・テレビ画面を指差しながら、本時の活動内容を知らせる。	・テレビ画面に注目できていない児童に対して、言葉かけや指差して注目できるように促す。		
3 分	3. 誕生日の人の紹介ビデオを見る。	・C 児を指名して、リモコンを操作し、動画を始めるように言葉かけをする。	・テレビ画面に注目できていない児童に対して、言葉かけや指差して注目できるように促す。		
5 分	4. 誕生日の人に質問をする。 ・質問カードの中から1枚選び、C 児に質問する。 (B・D) ・質問カードの中から1枚選び、C 児にカードを渡す。 (A) ・ヒントカードを見ながら質問に答える。(C)	・C 児を指名し、誕生日席に座るように言葉かけをする。 ・質問したい人を募り、順番に呼名する。 ・D 児が質問文を読む前に小さな声で読み、質問文の内容を伝える ・質問カードを指差し、読むように促す。 ・A 児の質問カードを代読する。 ・質問したり答えたりすることができた児童に対して言語称賛をする。	・C 児に注目できていない児童に対して、言葉かけや指差して注目できるように促す。 ・質問したり答えたりすることができた児童に対して拍手をしたり言語称賛をしたりする。	・ヒントカードを見ながら、「ぼくは〇〇です」と質問に答えることができる。 (C) ・質問したり答えたりしている人に注目することができる。(全員)	発声 観察
10 分	5. 巨大ケーキをトッピングしよう。 ・iPad やリモコンを操作し、トッピ	・C 児に機器の操作方法を説明する。	・BGM をかける。 ・C 児の依頼やテレ	・視覚的支援を受けて、相手に聞	発声

	<p>ングする人や飾ってほしいフルーツ等を決めて相手に伝える。(C)</p> <ul style="list-style-type: none"> テレビ画面や C 児の依頼を聞いて、フルーツ等を選び、ケーキに飾る。(A・B・D) 	<ul style="list-style-type: none"> 相手に聞こえる声量で伝えるように視覚的支援を提示したり言葉かけしたりする。 C 児の依頼通りにトッピングすることができている児童に対して言語称賛をする。 	<p>ビ画面に注目できていない児童に対して言葉かけや指差しをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> トッピングに迷っている児童に対してテレビ画面を指差したり、ヒントを伝えたりする。 	<p>こえる声量で飾ってほしいフルーツ等が伝えることができる。(C)</p> <ul style="list-style-type: none"> テレビ画面や C の依頼を聞いて、トッピングするフルーツを選び、ケーキに飾ることができる。(A・B・D) 	観察
3 分	<p>6. お祝いをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ハッピーバースデートゥーユー」を歌ったり手拍子したりする。(A・B・D) 「せーの」のかけ声の後に「〇〇くんたんじょうびおめでとう」と言う。(B・D) 「おめでとう」の後に拍手をする。(A) テレビ画面に映っているろうろくに向かって息を吹く。(C) 	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞をテレビ画面に歌詞を映したり、曲を流したりする。 児童が歌いやすいように一緒に歌ったり手拍子をしたりする。 「せーの」と声をかけ、テレビ画面を指差し、一緒にお祝いの言葉と言う。 C 児が息を吹いた直後にろうそくの火が消えるように iPad を操作する。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が歌いやすいように一緒に歌ったり手拍子をしたりする。 一緒にお祝いの言葉を買ったり、拍手をしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> テレビ画面の文字を見て、「〇〇くんたんじょうびおめでとう」と言うことができる。(B) 「せーの」のかけ声の後に「〇〇くんたんじょうびおめでとう」と言うことができる。(D) 「おめでとう」の後に拍手をすることができる。(A) 	<p>発声</p> <p>発声</p> <p>観察</p>
4 分	<p>7. 写真を撮る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定された席に座る。(C) 指定された場所に座ったり立ったりする。(A・B・D) ポーズを取ったり iPad の方向に身体を向けたりして写真を撮る。 	<ul style="list-style-type: none"> C 児に誕生日席に座るように言葉かけをする。 C 児以外に立ち位置や座る椅子を説明する。 T2 の後ろに立ち、iPad を見るように言葉かけをしたり手を振ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> C 児以外に C 児が席に座るまでは待つように言葉かけをする。 iPad を操作し、写真を撮る。 		
10 分	<p>8. おやつを食べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 会食の用意をする。 <p>(1)手を洗う。</p> <p>(2)消毒をする。</p> <p>(3)机を拭く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 好きなおやつを 1 	<ul style="list-style-type: none"> テレビ画面に会食の用意の手順を示し、説明する。 一緒に手を洗ったり、手を洗い終えた児童に消毒をしたりする。 手洗いと消毒を終えた児童にウェットティッシュを渡す。 誕生日の人を呼名した後、順に呼名し、好き 	<ul style="list-style-type: none"> 一人で机を運ぶことが難しい児童に対して必要に応じて一緒に運ぶ。 		

	つ選ぶ。 ・おやつを食べる。 ・ゴミを捨てる。	なおやつを選ぶように言葉かけをする。 ・C 児にお祝いの言葉を言うように説明し、挨拶をしてくれる人を募る。 ・食べ終わった児童に対してゴミを捨てるように言葉かけをする。	・一緒にお祝いの言葉を言ったり、食事の挨拶をしたりし、場の雰囲気盛り上げる。		
1 分	9. おわりのあいさつをする。	・前に出てあいさつをしたい児童を募る。 ・挙手した児童から一人を指名する。	・姿勢の崩れている児童に対して、姿勢を整えるよう言葉かけや身体的支援をする。		

10 配置図

【〇くみ教室】

